

教育委員会広報  
教育長室から

園 教育総務課 (25) 8558

「つながり響き合う教育」 上原 重治

昨年の8月に開催された全国コミュニティ・スクール研究大会や、10月に開催された全国社会教育研究大会で、本市の学校が、地域とのつながりの中で学校づくりに取り組んだ成果を発表する機会を得ました。本市の取り組みが着々と成果となって実を結んできているようすが伺え、うれしい限りです。これもひとえに、市民の皆さんのご支援のお陰と感謝しています。今後とも、市内全ての学校で、地域とともにある学校づくりを進めていきます。



キャリア教育  
～職場インタビューのようす～



地域学校協働活動  
～地域の方との学校農園整備のようす～

さらに、市内の多くの事業者のご協力を得て、教室の学びを社会につなぎ、一人一人の社会的・職業的自立を促すキャリア教育にも取り組んでいます。すでに取り組んでいる小中一貫教育を縦のつながり、地域とともにある学校づくりを横のつながり、そして、キャリア教育を子どもたちの明るい未来へのつながりとして、つながり響き合う教育をより積極的に進めていきたいと考えています。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

全国棚田サミットの開催に向けて

令和3年10月に第27回全国棚田サミットが、滋賀県内では初めて、本市で開催される運びとなりました。

全国棚田サミットは、全国棚田(千枚田)連絡協議会が主催し、平成7年度から棚田の保全や地域振興の取り組み、地域資源の活用方策など、全国の中山間地域が抱える問題の解決や課題の達成に向けて、毎年度全国各地で開催されています。

棚田は生態系の維持に大きな役割を果たし、景観的にも「日本の原風景」と高く評価されています。



市内の棚田を抱える地域においては、棚田オーナー制度や貸し農園、棚田ボランティア活動、あるいは棚田米といった農産物

の高付加価値化など、地域の景観や資源を活用した取り組みが展開されています。中でも、滋賀県内で唯一「日本の棚田百選」に指定された「畑地区」や、「鶴川地区」、「マキノ町森西地区」などが、集落ぐるみで維持や保全活動に熱心に取り組まれています。一方、市外からも、若者の移住定住など、農村を目指す田園回帰も確かな潮流となってきました。

2月には県や市、JA、商工会、観光協会などで構成する「棚田サミット実行委員会」を立ち上げました。今後サミットに向けて、棚田景観・農村文化の次世代への継承と、中山間地域における農業・農村保全の機運を高めるとともに、市内の取り組みや伝統文化を全国に発信し、また併せて、交流を通して地域活性化に繋げていきたいと考えています。

福井 正明

